

問 1. あなたの年齢を教えてください。(該当するもの 1 つにチェックをしてください)

1. 20 代 2. 30 代 3. 40 代 4. 50 代 5. 60 代以上

問 2. あなたの性別を教えてください。(該当するもの 1 つにチェックをしてください)

1. 女性 2. 男性 3. その他・答えたくない

問 3. あなたの主な勤務形態を教えてください。(主として該当するもの 1 つにチェックをしてください)

1. 日勤+当直（宿直・日直）
2. 日勤のみ
3. 交代制^{※1}
4. 夜勤専従
5. 夜勤勤務を含む変形労働制^{※1}
6. それ以外
7. わからない

※1：交代制勤務には 24 時間を 2 つのシフトに分ける「2 交代制」や「3 交代制」があり、また、各シフトの長さがほぼ均一なタイプのほか、変則的なタイプ（夜勤時間 9～10 時間の変則 3 交代制、夜勤時間 13～16 時間の変則 2 交代制など）があります。

問 4. あなたに適用されている労働時間制を教えてください。

1. 通常の労働時間制 ^{※2}	2. 変形労働時間制 ^{※3}	3. フレックスタイム制 ^{※4}	4. 裁量労働制
---------------------------	--------------------------	----------------------------	----------

※2：通常の労働時間制とは、1 日 8 時間、週 40 時間（法定労働時間）に基づき勤務する形態を指します。

※3：変形労働時間制とは、一定の期間内を平均し、1 週間当たりの労働時間が法定の労働時間を超えない範囲内において労働時間を柔軟に調整する制度であり、1 ヶ月単位の変形時間労働制等があります（例：2 交代制勤務で 1 日の所定労働時間が 8 時間を超える勤務等）

※4 フレックスタイム制とは一定の期間内についてあらかじめ定めた総労働時間の範囲内で、労働者が日々の始業・終業時刻、労働時間を自ら決めることができる制度です。

問 5. あなたの現職種におけるキャリア（初期研修を含む医師としての通算経験年数）を教えてください。なお、休職をした場合は、その期間は含めず、回答してください。(該当するもの 1 つにチェックをしてください)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 1 年未満 | 5. 10 年未満 |
| 2. 2 年未満 | 6. 20 年未満 |
| 3. 3 年未満 | 7. 20 年以上 |
| 4. 5 年未満 | |

問 6. 現在主として勤務する医療機関における、あなたの勤務年数を教えてください。なお、休職をした場合は、その期間は含めず、回答してください。また、現医療機関を一度辞めている場合は、辞める前の勤務年数は含めずに回答してください。(数字を入力)

() 年 ※1 年に満たない場合は、小数でご記入ください。 例：0.4 など

問 7. あなたが主として専門としている診療科（最も時間を費やしている診療科）を教えてください。(該当するもの 1 つ にチェックをしてください)

- | | | | |
|----------------|-----------------|-------------|----------------|
| 1. 内科 | 12. 感染症内科 | 23. 肛門外科 | 34. 腫瘍内科 |
| 2. 呼吸器内科 | 13. 小児科 | 24. 脳神経外科 | 35. 緩和ケア科 |
| 3. 循環器内科 | 14. 精神科 | 25. 整形外科 | 36. リハビリテーション科 |
| 4. 消化器内科（胃腸内科） | 15. 心療内科 | 26. 形成外科 | 37. 放射線科 |
| 5. 腎臓内科 | 16. 外科 | 27. 美容外科 | 38. 麻酔科 |
| 6. 神経内科 | 17. 呼吸器外科 | 28. 眼科 | 39. 病理診断科 |
| 7. 糖尿病内科（代謝内科） | 18. 心臓血管外科 | 29. 耳鼻いんこう科 | 40. 臨床検査科 |
| 8. 血液内科 | 19. 乳腺外科 | 30. 小児外科 | 41. 救急科 |
| 9. 皮膚科 | 20. 気管食道外科 | 31. 産婦人科 | 42. 臨床研修医 |
| 10. アレルギー科 | 21. 消化器外科（胃腸外科） | 32. 産科 | 43. 全科 |
| 11. リウマチ科 | 22. 泌尿器科 | 33. 婦人科 | 44. その他 |

問 8. 主たるご勤務先の所在地を教えてください。(該当するもの 1 つ にチェックをしてください)

- | | | | | |
|---------|----------|----------|---------|----------|
| 1. 北海道 | 11. 埼玉県 | 21. 岐阜県 | 31. 鳥取県 | 41. 佐賀県 |
| 2. 青森県 | 12. 千葉県 | 22. 静岡県 | 32. 島根県 | 42. 長崎県 |
| 3. 岩手県 | 13. 東京都 | 23. 愛知県 | 33. 岡山県 | 43. 熊本県 |
| 4. 宮城県 | 14. 神奈川県 | 24. 三重県 | 34. 広島県 | 44. 大分県 |
| 5. 秋田県 | 15. 新潟県 | 25. 滋賀県 | 35. 山口県 | 45. 宮崎県 |
| 6. 山形県 | 16. 富山県 | 26. 京都府 | 36. 徳島県 | 46. 鹿児島県 |
| 7. 福島県 | 17. 石川県 | 27. 大阪府 | 37. 香川県 | 47. 沖縄県 |
| 8. 茨城県 | 18. 福井県 | 28. 兵庫県 | 38. 愛媛県 | |
| 9. 栃木県 | 19. 山梨県 | 29. 奈良県 | 39. 高知県 | |
| 10. 群馬県 | 20. 長野県 | 30. 和歌山県 | 40. 福岡県 | |

問 9. あなたが主として勤務する医療機関の主な病床機能を教えてください。（該当するもの 1 つにチェックをしてください）

1. 高度急性期 2. 急性期 3. 回復期 4. 慢性期

高度急性期：急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、診療密度が特に高い医療を提供する機能

急性期：急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、医療を提供する機能

回復期：急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する機能等

慢性期：長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能等

問10. あなたが主として勤務する医療機関の病床数を教えてください。（該当するもの 1 つにチェックをしてください）

1. 500 床以上
2. 400 床以上 500 床未満
3. 300 床以上 400 床未満
4. 200 床以上 300 床未満
5. 100 床以上 200 床未満
6. 100 床未満

問 11. あなたが主として勤務する医療機関の開設主体を教えてください。

1. 国等（厚生労働省、独立行政法人国立病院機構、独立行政法人労働者健康安全機構、国立高度専門医療研究センター、独立行政法人地域医療機能推進機構、その他(国の機関)）
2. 地方公共団体等（都道府県、市町村、地方独立行政法人）
3. 大学法人（国立大学法人、公立大学法人、私立大学法人）
4. 公的医療機関（日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会）
5. 社会保険関係団体（健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合）
6. 医療法人
7. 個人
8. その他（公益法人、社会福祉法人、医療生協、会社、その他の法人）

問 12. あなたは主として勤務するご勤務先の就業規則等に記載されている時間外労働時間に関する規程をご存じですか。(該当するもの 1 つにチェックをしてください)

- 問 12-1. 自らに適用される「時間外・休日労働に関する協定届（36 協定）」の内容をご存じですか。（該当するもの 1 つにチェックをしてください）

- 問13. 労働時間^{※5}の把握方法を教えてください。（主として該当するもの1つにチェックをしてください）

- ※5：労働時間とは、在院時間ではなく、実労働時間として管理されている時間のことを指します。

具体的な把握方法を教えてください。（主として該当するもの 1 つにチェックをしてください）

1. タイムレコーダー・タイムカード（紙）
2. タイムレコーダー（ＩＣカード・生体認証等）
3. 電子カルテなどのログ
4. 勤怠管理システム（始業・終業時間をパソコンログイン情報等から自動的に記録するもの）
5. その他（ ）

問 13-2. あなたが主に勤務する医療機関における研鑽に関する考え方や手続きの有無について、当てはまるものを選択してください。(主として該当するもの 1 つにチェックをしてください)

1. 労働時間に該当する研鑽と該当しない研鑽の分けや手続きについて勤務先から示されている
2. 労働時間に該当する研鑽と該当しない研鑽の分けや手続きについて勤務先から示されていない
3. わからない

問 13-3. 自分の従事している宿日直業務が労働基準法に基づく宿日直許可を得ているかどうかを知っていますか。

1. 知っている
2. 知らない

問 13-4. 当該許可内容がどのようなものかを知っていますか。(該当するもの 1 つにチェックをしてください)

1. 知っている
2. 知らない

問 13-5. あなたは主とする勤務先以外で定期的に副業・兼業を行っていますか。(該当するもの 1 つにチェックをしてください)

1. 行っている
2. 行っていない

→1. を回答した場合は、1か月あたりおよそ何日、合計何時間行っていますか。

1. 月あたり () 日 () 時間
2. わからない

→1. を回答した場合、副業・兼業を行っていることを主たる勤務先の医療機関等に届け出ていますか。(該当するもの 1 つにチェックをしてください)

1. 副業・兼業先、勤務予定、実際に労働した時間を届け出ている
2. 副業・兼業先、勤務予定のみ届け出ている
3. 副業・兼業先のみ届け出ている
4. 勤務予定のみ届け出ている
5. 実際に労働した時間のみ届け出ている
6. その他 ()
7. 届け出ていない

問 14. あなたの令和 6 年 6 月の 1 か月間のおおよその時間外・休日労働時間数（主たる勤務先の所定労働時間を超えて勤務した時間数と所定の休日に勤務した時間数。残業中の休憩時間など労働していない時間は除く。）を教えてください。（該当するもの 1 つにチェックをしてください）

1. 45 時間以下
2. 45 時間超～80 時間以下
3. 80 時間超～100 時間以下
4. 100 時間超～
5. 把握していない

※令和 6 年度以降、月 100 時間以上の時間外・休日労働が見込まれる医師は、面接指導実施医師による面接指導を受ける必要があります

問 15. あなたの令和 5 年度 1 年間のおおよその時間外・休日労働時間数（所定労働時間を超えて勤務した時間数と所定の休日に勤務した時間数。残業中の休憩時間など労働していない時間は除く）を教えてください。（該当するもの 1 つにチェックをしてください）

1. 360 時間以下
2. 360 時間超～720 時間以下
3. 720 時間超～960 時間以下
4. 960 時間超～1860 時間以下
5. 1860 時間超～
6. 把握していない

問 16. あなたの令和 6 年 6 月の 1 か月間の時間外労働の理由を教えてください。

（該当するもの すべてにチェックをしてください）

1. 患者対応、ケア
2. 事務作業（記録・報告書作成や書類の整理等）
3. 教育・指導・フォロー
4. 入退院・転院・転棟に係る対応
5. 患者家族への対応
6. 緊急対応
7. 手術や外来対応等の延長
8. 業務上必要とされている委員会・会議・勉強会・研修会等への参加
9. 業務上必要とされる手技の練習や自己学習

10. 上司の指示のある学術活動（学会発表の準備や研究等）
11. 他職種・他機関との連絡調整
12. 勤務開始前の準備
13. その他（ ）

問 17. 時間外労働手当は、何に基づき支払われていますか。(主として該当するもの 1 つ にチェックをしてください)

1. タイムレコーダー・タイムカード・ICカード・電子カルテ等のログなどの客観的な記録に基づき支払われている（※異常値等について上司が本人に確認し修正する場合を含むが、原則として客観的な記録どおりに支払われている場合）
2. 本人の申告時間に基づき支払われている（※異常値等について上司が本人に確認し修正している場合を含むが、原則として自己申告どおりに支払われている場合）
3. 時間外労働の上限時間が設定され、その上限の中で支払われている（上司の残業命令が上限時間の範囲内に収めている場合を含む）
4. 固定残業制（年俸制含む）が採用され、決められた範囲内で残業代が支払われている（上司の残業命令が固定残業代に含まれる時間数内に収めている場合を含む）
5. 記録や申告時間とは独立して、上司・管理者等が時間外労働と認めた分が支払われている
6. 時間外労働がない
7. 時間外労働手当は支払われていない
8. その他（ ）

＜休日・休暇について伺います＞

問 18. あなたの令和 6 年 6 月の①所定休日日数^{※6}及び②実際に業務を休んだ日数を教えてください。(数字を入力)

※6：所定休日日数とは、病院・診療所が就業規則等で定めた休日（公休）のことを指します。

①所定休日日数 1. () 日 2. わからない

②実際に業務を休んだ日数 () 日

＜当直・夜勤等について伺います＞

問 19. 主として勤務する勤務先について令和 6 年 6 月の当直（①宿直・②日直）・③夜勤^{※7}（交代制勤務の下で夜間に行った勤務）・④オンコールの当番回数を教えてください。ただし、①②について、宿日直許可のある宿直、日直については当該回数の内数としてください。また、①②③④それぞれについて、該当がない場合には「0（ゼロ）」と回答してください。(数字を入力)

① 宿直	回 (うち宿日直許可 のある宿直 回)	③夜勤	回
② 日直	回 (うち宿日直許可 のある日直 回)	④ オンコール	回

アラート文：6 月の実施した回数です。30 回を超えることはありません。

※7：夜勤とは法定労働時間内で夜間に勤務することを指しており、宿直（電話の応対や巡回、非常事態に備えての待機など、ほとんど労働する必要のない勤務のこと）とは異なる。

(問 19 で①に 1 以上の数値を入力した場合にのみ問 19-1 から問 19-3 を表示)

問 19 で令和 6 年 6 月に宿直を行った方に伺います。

問 19-1. 予定されている①宿直 1 回あたりの平均拘束時間数と②あなたの令和 6 年 6 月の宿直 1 回あたりの平均実労働時間数（患者対応など通常勤務時と同様の業務を行った時間数）を教えてください。(数字を入力)

① ご勤務先の宿直時の平均拘束時間数 () 時間 () 分

② 宿直時の平均実労働時間数 () 時間 () 分

問 19-2. 宿直明けの勤務について、どのような勤務割になっていますか。(該当するもの 1 つにチェックをしてください)

1. 通常勤務で、業務内容の軽減はない

2. 通常勤務であるが、業務内容は軽減される
3. 短時間勤務で、業務内容の軽減はない
4. 短時間勤務で、業務内容も軽減される
5. 勤務なし（休み）
6. その他（ ）
7. 日によって異なる（具体的に： ）
8. わからない

問 19-3. 当直（宿直・日直）の負担軽減・当直者の処遇改善のためにどのようなことが必要だと思いますか。（該当する重要度が高い上位3つにチェックをしてください）

1. 当直回数の調整・削減（育児・介護等への配慮）
2. 当直体制の変更（合同当直、準夜帯・深夜帯で担当者を分ける等）
3. 勤務体制の変更（宿直から夜勤への変更等）
4. 宿直明けの勤務免除・業務負担軽減
5. 給与・手当等の見直し（宿日直手当の増額等）
6. 当直室の整備・充実
7. カウンセリング・メンタルヘルス支援
8. その他（ ）

<勤務環境等について伺います>

問 20. あなたのこの1か月間の睡眠の状況について教えてください。(該当するもの 1 つにチェックをしてください)

1. 睡眠は十分にとれていた
2. 睡眠は比較的とれていた
3. どちらともいえない
4. 睡眠はあまりとれていなかった
5. 睡眠は不足していた

問 20-1. 当直・夜勤の時間帯の休息場所の環境について教えてください。

(該当するもの 1 つにチェックをしてください)

1. 十分に休息できる環境にある
2. 十分に休息できる環境にない
3. わからない

2. を回答した場合、"十分に休息できる環境にない"理由を教えてください。(該当するもの すべて にチェックをしてください)

1. 騒音が大きい(話声が聞こえる等)
2. 電灯の照度を調整できない(睡眠に合わせて暗くする等)
3. 室内・寝具が清潔ではない
4. 当直室にトイレ・シャワーがない
5. 個室ではない
6. その他 ()

問 21. あなたは時間外労働時間を減らしたいと考えていますか。(該当するもの 1 つにチェックをしてください)

1. 減らしたい
2. どちらでもよい
3. 減らしたくない

3. を回答した場合、"減らしたくない"理由を教えてください。(主として該当するもの 1 つにチェックをしてください)

- | | |
|-----------------------|---|
| 1. 研鑽をつみたい(臨床経験を積みたい) | 4. 患者の状態を確認することが医師の責務だと思っているから |
| 2. 生活費を確保したい | 5. 帰宅するより医療機関に居る時間を長くとした方が何かと便利だから(緊急時の対応等) |
| 3. 他の人より早く帰りたくない | 6. その他 () |

問 22. 働き方改革関連制度の施行前と比較して勤務環境の改善がなされていると感じることがありますか。(該当するもの 1 つにチェックをしてください)

- | | |
|--------------|----------|
| 1. よくある | 4. あまりない |
| 2. 少しある | 5. ない |
| 3. どちらともいえない | |

問 23. 問 22で「1. よくある」又は「2. 少しある」と回答した方にお尋ねします。具体的にどのような点で感じるかを教えてください。
()

問 24. あなたの現在の健康状態について教えてください。(該当するもの 1 つにチェックをしてください)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 健康である | 4. どちらかという健康ではない |
| 2. どちらかという健康である | 5. 健康でない |
| 3. どちらともいえない | |

問 25. 従来より、医療法に基づき、医療機関の管理者は、医療従事者の勤務環境改善に努めなければならないとされており、その実施に当たっては、職員の参画を得ながら、PDCA サイクルにより計画的に取り組むよう指針が示されておりますが、あなたの勤務先の医療機関では、定期的に勤務環境の改善について、話し合う機会がありますか。(該当するもの 1

つにチェックをしてください)

1. 定期的に管理職や経営陣と話し合う機会がある
2. たまに管理職や経営陣と話し合う機会がある
3. 管理職や経営陣と話し合う機会はないが、同僚とは話し合う
4. 話をする機会はない

問 26. 以下に挙げる医療従事者の勤務環境改善に関する取組のうち、ご勤務先で取り組んでおり、あなたが勤務環境改善の効果を感じている項目を教えてください。(該当するものすべてにチェックをしてください)

I 働き方・休み方改善

取 組		い 取 る 組 ん で	効 果 が 高 い
労働時間管理	1. 時間外労働時間の削減に取り組んでいる	1	2
	2. 1 回当たりの最長勤務時間の削減に取り組んでいる	1	2
	3. 年次有給休暇をはじめとする休暇の取得を促進している	1	2
	4. 夜勤負担の軽減（夜勤明けの早帰りの推進、夜勤者の配置人数の見直し、夜勤回数の制限、仮眠時間の確保等）を行っている	1	2
	5. 夜勤専従者への配慮（夜勤の時間・回数の制限等）を行っている	1	2
	6. 夜勤・交代制勤務の勤務間隔を適切に管理している	1	2
	7. 労働時間設定改善に関する労使間の話し合いの機会を設けている	1	2
	8. 勤務間インターバル制度を導入している	1	2
勤務負担軽減	9. 補助職（医師事務作業補助者、看護補助者等）を配置している	1	2
	10. 正職員について多様な勤務形態（短時間勤務、短日勤務、交代制勤務、変形労働制、フレックスタイム制など）を活用している	1	2
	11. 当直（宿直・日直）明けの勤務者に対する配慮を行っている（連続当直を行わない、当直明けに日勤を入れない等）	1	2

勤務負担軽減	12. 夜勤、緊急時対応、オンコール対応等に対する給与・手当等の処遇を充実・改善している	1	2
	13. 複数主治医制の導入などによるチーム医療の促進や多職種連携（業務分担・連携の強化等・タスクシフト※8）により負担軽減を図っている	1	2
	14. 地域の医療機関との連携（オープンシステム、外来機能の分担等）を推進している	1	2
	15. テレワーク・在宅勤務の制度を整備している	1	2

※8：例）医師が行っていた事務的作業を医師事務作業補助者がサポートするようになった

13. で「取り組んでいる」と回答した方は、どのような職種とタスク・シフト/シェアを行っていますか。（該当するものすべてにチェックをしてください）

1. 医師
2. 看護職員（保健師、助産師、看護師）
3. 特定行為研修修了看護師
4. 薬剤師
5. 診療放射技師
6. 臨床検査技師
7. 臨床工学技士
8. 理学療法士
9. 作業療法士
10. 視能訓練士
11. 言語聴覚士
12. 栄養士、管理栄養士
13. 歯科衛生士、歯科技工士
14. MSW、PSW、ソーシャルワーカー等
15. 医師事務作業補助者、
16. 看護補助者
15. 事務職員

Ⅱ 職員の健康支援

取 組		い取り組んで	効果が高い
職員の健康支援	16. 職員の健康教育や身体的健康対策（生活習慣病対策等）に取り組んでいる	1	2
	17. 職員のメンタルヘルス教育研修を実施している	1	2
	18. 産業医を選任し、職員に周知している	1	2
	19. 長時間労働の医師に対する面接指導実施体制を充実させている（面接指導実施医師の手厚い配置、産業医との連携体制の構築等）	1	2
	20. 病気休職者向けの職場復帰支援プログラム（リワークプログラム等）を設けている	1	2

問 26- 1. 健康支援に関する満足度（該当するもの 1 つ にチェックをしてください）

1. 満足
2. どちらかという満足
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば不満
5. 不満

Ⅲ 働きやすさ確保のための環境整備

取 組		い取り組んで	効果が高い
仕事と子育て・介護等の両立支援	21. 全職員に育児休業を取得するよう積極的に働きかけている	1	2
	22. 法定※ ⁹ 以上の育児休業制度、子の看護休暇制度（男性職員・女性職員ともに対象）を導入している	1	2
	23. 院内保育所や提携保育所等を整備している	1	2
	24. 院内や近隣に学童保育を整備している	1	2
	25. 学童期の子どもを有する職員に対する支援制度を設けている	1	2
	26. 本人の希望に応じて、子育て中の医師の当直を免除している	1	2
	27. 短時間勤務等の措置（短時間勤務制度等）を導入している	1	2
	28. 法定※ ⁹ 以上の介護休業制度、介護休暇制度（男性職員・女性職員ともに対象）を導入している	1	2
	29. 法定※ ⁹ 以上の子育て・介護中の職員に対する夜勤・時間外労働免除（男性職員・女性職員ともに対象）を実施している	1	2
	30. 子育て・介護等を行っている職員が雇用形態や勤務形態を選択可能な制度を整備している	1	2
	31. 治療との両立支援の制度・取組を実施している		

※9：育児・介護休業法に定められた義務的措置の期間等については、下記参照。（最新情報については厚生労働省 HP もご確認ください）

育児休業：原則子が 1 歳未満。ただし、(1)父母ともに休業する場合は 1 歳 2 か月未満。(2)保育所に入所できない場合等は 1 歳 6 か月未満。(3)それでも保育所に入所できない場合等は 2 歳未満。

子の看護休暇：小学校就学未満の子 1 人について 1 年に 5 日（子が 2 人以上の場合は 10 日）まで
介護休業：要介護家族 1 人につき通算 93 日まで

介護休暇：要介護家族 1 人について 1 年に 5 日（要介護家族が 2 人以上の場合は 10 日）まで

育児・介護のための時間外労働制限：子が小学校就学未満・介護が終了するまで

育児・介護のための深夜業制限：子が小学校就学未満・介護が終了するまで

30. で「取り組んでいる」と回答した方は整備している制度を教えてください。（該当するものすべてにチェックをしてください）

- | | | | |
|--------------------------------|--------------------|--------------|--------------|
| 1. 短時間勤務 | 2. 短日勤務 | 3. 交代制勤務 | 4. フレックスタイム制 |
| 5. 休日出勤の免除 | 6. 早番・夜勤の免除または回数制限 | 7. 育児・介護休暇制度 | |
| 8. その他（ ） | | | |

ハラスメント等対策 職員のいじめ・	31. 職員へのいじめ・ハラスメントや患者等からの暴言・暴力・クレームへの対応窓口を設置している	1	2
	32. 職員へのいじめ・ハラスメント対策や患者等からの暴言・暴力・クレームへの対策に関する研修や、当該研修への職員参加の支援を行っている	1	2
風土・環境整備	33. 職員の働く満足度の調査を行っている	1	2
	34. 職員向けに、院内に仮眠室や休憩室等を整備している	1	2

IV 働きがいの向上

取 組		い取り組んで	効果が高い
キャリア形成支援	35. 施設外の研修への参加を支援している	1	2
	36. 学会への参加者に対し、勤務を免除する、通常勤務の時間を短くするなどの措置をとっている	1	2
	37. 専門資格の取得を支援する制度を設けている	1	2
休業後のキャリア形成支援	38. 産休・育休復帰後のキャリア形成の支援（業務経験や研修等の機会の付与、産休・育休経験者による相談対応等）を行っている	1	2
	39. 復職者が利用できる短時間正職員制度や有期契約職員制度が導入されている	1	2
	40. 産休・育休中の職員の円滑な復職の支援（e-learning、実技実習、託児所を併設した勉強会等）を行っている	1	2

V. その他

取 組		い 取 組 ん で	効 果 が 高 い
そ の 他	41. 患者満足度の調査を行っている	1	2
	42. 子育て等により配慮を受ける職員とその他の職員の公平感に留意した適切な業務分担や処遇となっている	1	2
	43. 地域における自院の役割や不満などについて、地域住民などに対し満足度調査を行うなど、外部からの客観的な意見を聞くことによる地域における自院の状況・立場を把握する取組等を行っている	1	2
	44. 定年退職者の再雇用に積極的に取り組んでいる	1	2
	45. 通常診療時間外の病状説明は避けるなど患者家族に働き方改革の理解を求めている	1	2

問 26-2. 勤務環境全般に関する満足度（該当するもの 1 つにチェックをしてください）

1. 満足
2. どちらかという満足
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば不満
5. 不満

以上でアンケート調査は終了です。

ご協力ありがとうございました。